

EU関税制度改正及び SpeedPAKサービス変更のお知らせ

2026年7月1日からEU向け発送のルールが変わります

対象: EU 27カ国向けにSpeedPAKをご利用のeBayセラー様

Orange Connex Logistics Japan



結論サマリー: 押さえるべき 3つの変更点

EU向けSpeedPAK発送について、2026年7月の制度変更で押さえておくべき要点は次の3つです

1

EU向け少額貨物の関税免税が廃止

€150以下にも関税が発生

2026年7月1日以降、これまで関税免税の対象だった申告価格€150以下のEU向け貨物にも、品目ごとに一律€3の固定関税が課されます

2

対象サービス毎に DDP/DDU ルールが変更

SpeedPAKの利用において、申告価格が

€150以下はDDPのみ選択可能

€150超過はDHL/FedExのみDDP・DDUの両方が選択可能です。

3

正確な申告情報と費用負担への備えが必要

EU向け出荷では、HSコード、商品名・商品説明、申告価格、数量・重量、原産国などを正確に申告する必要があります。

特にSpeedPAK-DHL/FedExでは申告明細ごとに6桁HSコードが必須になります。

アジェンダ: 今日お伝えする 5つのこと

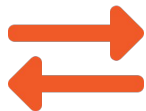
この資料を読めば制度理解から実務対応まで一気通貫で把握できます

01



制度変更の
背景と概要

02



対象範囲・
適用開始日

03



DDP/DDUと
SpeedPAK利用
ルール

04



費用・手数料
の考え方

05



セラーが今すぐ
対応すべきこと

なぜ今、制度が変わるのか

2021年のVAT免税撤廃に続き、2026年は関税免税撤廃という最後の一線が崩れます

2021

2026年6月末まで

2026/7/1

VAT免税撤廃

全ての荷物に一律でVATが課税

「申告価格150ユーロ以下」の
少額貨物は無関税

「150ユーロ以下の関税免税枠」が
完全に撤廃

150ユーロ以下の貨物に対し、一律 3ユーロの
暫定関税が課されます



免税の「最後の例外」がなくなり、EU向けすべての商品に関税が課される時代へ。

制度変更の背景とスケジュールを正しく理解し、早めの対応が重要です。

何が変わるのか：€150の壁がなくなる

26年7月1日より、申告価格が€150以下の小口荷物が無税ではなくなり、品目ごとに一律3の関税が課されます

Before

€0

2026年6月30日まで：
€150以下は無関税措置の適用

After

€3

2026年7月1日から：
品目ごとに€3の固定関税

※注意：€3は原則として1出荷ごとではなく、「品目ごと」に発生します。

1つの商品でもあっても複数HS codeがある商品の場合、
HSコード数 × 3ユーロで課金となります。

対象範囲：あなたの発送はどれに当たるか

EU27カ国向けにSpeedPAKを利用する全セラーが、本変更の対象になります

対象国：EU27カ国



SpeedPAK-FedEx

申告価格 ≤ 150 ユーロ：DDP のみ
申告価格 > 150 ユーロ：DDP・DDU 両方利用可



SpeedPAK-DHL

申告価格 ≤ 150 ユーロ：DDP のみ
申告価格 > 150 ユーロ：DDP・DDU 両方利用可



SpeedPAK Economy ※EUではドイツ向けのみ利用可能

申告価格 ≤ 150 ユーロ：DDP のみ



対象外：UK（2029年まで現行制度維持予定）

適用開始日：発送方法ごとに異なるタイミング

SpeedPAK Economyは6月22日、SpeedPAK-FedEx/DHLは6月26日からCPaSSでの新規注文に適用されます



🕒 2026年6月22日0時(UTC+09:00)



🕒 2026年6月26日0時(UTC+09:00)



基準：CPaSSでの注文作成タイミング

上記日時以降にCPaSSで注文を作成した国際荷物が新しい制度の対象となります。

SPK インコタームズ要件：申告価格で DDP/DDU選択が決まる

申告価格€150以下はDDPのみ、€150超過はDDP・DDU両方選択可 (SpeedPAK-FedEx/DHL発送の場合)です

サービス種別	€150	
	申告価格 €150 以下	申告価格€150 超過
SpeedPAK FedEx/DHL	✓ DDPのみ	✓ DDP・DDU両方可
SpeedPAK Economy	✓ DDPのみ	✗ 利用不可



重要ポイント

申告価格が€150以下の荷物はDDP一択となります。

€150を超える荷物で、SpeedPAK Economyは利用不可です。

DDP vs DDU: 費用負担とリスクの違い

DDPはセラーが先払いして追加請求が発生しないのに対し、DDUはバイヤー負担のため支払い拒否時にセラーへ請求されるリスクがあります



DDP



推定関税 & 税金・通関サービス手数料を
OCが徴収 (バイヤーへの追加負担なし)



DDU



申告価格 > **€150** のみ選択可。

バイヤーが支払い拒否・連絡不能の場合:
セラーへ請求される可能性



重要ポイント

DDPはセラー負担となりますため、買い手への追加請求は発生しません。

DDUはバイヤー負担のため、追加費用請求が転嫁される可能性があります。

関税・通関関連手数料の全体像と算出ロジック

推定関税はHSコードごとに€3だが、通関関連費用や推定関税処理手数料2.1%が加算されるため実際の負担額は€3以上に

追加費用は大きく3種類



②その他通関関連費用の詳細

	SpeedPAK FedEx	SpeedPAK DHL	SpeedPAK Economy
現地税金元払い 請求手数料	×	関税及び諸税金の2% 最低金額：850 円	×
関税その他税金 転送手数料	無料 (免除)	×	×



*DDP関連の全費用につきまして、最終的な内訳および各項目の金額は、発行される請求書に記載の内容が正式なものとさせていただきます。

国別の独自手数料(TPC): 3力国で個別に発生

ルーマニア・フランス・イタリア向けの発送では、EU統一関税とは別に「税務管理手数料」の一種である、各国独自の通関関連手数料(TPC)が上乗せされます



ルーマニア

開始日

2026年1月1日から

対象

申告価格 150 EUR 未満

約5 EUR (25 RON)/輸入貨物



フランス

開始日

2026年3月1日から

対象

申告価格 150 EUR 未満

2 EUR HSコードごと



イタリア

開始日

2026年7月1日から

対象

申告価格 150 EUR 未満

2 EUR 1出荷につき固定

関連リリース(Orange Connex Japan)

ルーマニア: [重要なお知らせ: SpeedPAK Ship via FedEx ルーマニア向け出荷に関する規制手数料について](#)

フランス: [重要なお知らせ: フランス向け発送におけるSpeedPAK Ship via FedEx 規制関連費用について](#)

イタリア: [イタリア規制料金に関するお知らせ- 規制手数料の徴収停止および返金対応について](#)

EU標準通関手数料導入までの暫定措置

ルーマニア・フランス・イタリアのTPC(独自手数料)は「税務管理手数料」の一種で、EU標準通関手数料が導入されるまでの暫定的な措置で、2026年7月～11月は一部国で追加負担が発生します

2026年7月1日

～2026年11月

2026年11月以降

固定関税 €3 が開始
3カ国のTPCも並行して適用

3カ国向けはTPCと固定関税が
二重で発生する期間

EU標準通関手数料を導入
3カ国のTPCは失効(廃止)



- ・EUが標準手数料を提供した時点で、ルーマニア・フランス・イタリアの独自手数料(TPC)はその役割を終え、失効(廃止)となる見込みです。
- ・2026年7月1日～2026年11月までの間は、一律の固定関税(€3)とは別に、これら 3カ国向けには独自の手数料が上乗せされます。
- ・なお、DDPの場合、上記の手数料は OC経由でのご請求となります。

費用構造の変化：固定関税と TPCの二重発生期間

2026年7月～11月は、3カ国向け発送のみ「固定関税€3」と「各国独自のTPC」が二重で課され、他のEU諸国より発送コストが高くなります

2026年7月～11月

固定関税 + 各国独自のTPC(二重課税)

ルーマニア €3 + 約€5 **約 €8 /件**

フランス €3 + €2 **€5 /品目**

イタリア €3 + €2 **€5 /出荷**

2026年11月以降

固定関税 + EU標準通関手数料 に一本化

€3 + **EU標準手数料**

3カ国独自のTPC(ルーマニア・フランス・イタリア)は失効し、EU全域で共通の手数料構成に整理されます。

※ DDPの場合、上記の手数料は OC経由でのご請求となります。標準手数料の詳細は 2026年内に公表予定であり、判明次第、最新情報をお知らせいたします。

セラーに求められる必須の基本データ

データの不備は、通関遅延、関税の誤算出、または荷物の返送に直結します。EU向けの全出荷において、以下のデータを正確に申告する必要があります。

SpeedPAK-FedEx/DHL



6桁

HSコード必須

通関の正確性とコンプライアンス確保のため、
申告明細ごとにHSコード（6桁）の記載が必要です。

SpeedPAK Economy



記載推奨

（無記載の場合、OCが申告情報
をもとに分類）

OC側が申告情報をもとに自動で分類するため、
HSコードの記載は不要です。

共通要件チェックリスト



商品名・商品説明

※商品説明は「Gift」「Parts」などの曖昧な表記ではなく、具体的な商品名・用途・材質が分かる内容で申告してください。



申告価格



数量・重量



原産国

知っておくべき注意点：一度払った関税は返金不可

発送後に事前徴収された定額関税は、配送失敗・返送・不着など理由を問わず返金はいできません



事前徴収した定額一時関税は返金不可（理由を問わず）

EU税制・関税率・徴収規定の変更があれば請求基準も随時改定されていきます

OCでは制度変更に向けた対応準備を進めています

CPaSSでの適用開始日設定、HSコード分類ロジック、DDP/DDU別の課金フローまで整えています



適用日設定済み



HSコード分類対応済み



DDP・DDU別の徴収タイミング設計済み



最終精算(過払い返金・不足追加請求)の
仕組み整備済み

あなたが今すぐすべきこと

EU向け発送を行う前に、以下の3つのステップを確認してください

1

Step 1: EU向け出品・発送予定を確認する

EU27カ国向けにSpeedPAKを使っている商品を確認

2

Step 2: 申告情報を用意する

HSコード、商品名・説明、申告価格、数量・重量、原産国を確認

3

Step 3: 発送条件を確認する

申告価格€150以下はDDPのみ。
€150超過はFedEx/DHLのみ
DDP/DDUを両方選択可能

サポート窓口



電話 0800-300-8192



CS.JP@orangeconnex.com (件名: EU税制改正に関する問合せ)

エリア拡大: SpeedPAK EconomyがEU全域へ

現在ドイツ(DE)向けのみ提供中のエコノミーサービスが、いよいよ対象エリアを大幅に拡大いたします。



皆様に嬉しいニュース！

2026年Q3中に、ドイツを除くEU26カ国への発送が
いいに対応予定となります。

人気のエコノミー配送が、EU全域(27カ国)でご利用
可能になります。



詳細は追ってお知らせ

現在、皆様にスムーズにご利用いただけるようシステムを鋭
意開発中です。

具体的な提供開始日や CPaSSでの対応スケジュールは、確
定次第アップデートいたします。

お問い合わせ

状況は今後変化する可能性があります。最新情報は随時ご案内します

サポート窓口：電話 0800-300-8192

メール：CS.JP@orangeconnex.com

Orange Connex Logistics Japan



EU関税制度改正及び SpeedPAKサービス変更のお知らせ

2026年7月1日からEU向け発送のルールが変わります

対象：EU 27カ国向けにSpeedPAKをご利用のeBayセラー様

Orange Connex Logistics Japan



対象範囲：あなたの発送はどれに当たるか

EU27カ国向けにSpeedPAKを利用する全セラーが対象になります



27

対象国：EU27カ国

対象外：UK(2029年まで現行制度維持)

対象サービス



SpeedPAK-DHL発送



SpeedPAK-FedEx発送



SpeedPAK Economy

関税・通関関連手数料の全体像と算出ロジック

推定関税はHSコードごとに€3だが、通関関連費用や推定関税処理手数料2.1%が加算されるため実際の負担額は€3以上に

追加費用は大きく3種類



(FedExによる) 実例: 中国→フランス、€100のスカート1点

項目	Before July 1st, 2026	After July 1st, 2026
関税価格	€100	€100
VAT(20%)	€20	€20
推定関税及び税金料金	€0 (免税枠内)	€3+
通関関連手数料+ 推定関税処理手数料	€2	€2 + €?
Total	€122	€125+α



*推定関税処理手数料は、

「推定関税及び税金料金+その他通関関連費用」の合計額に対して2.1%が適用されます。

*EU手数料(EU Handling fee)は承認待ちの段階であり、2026年末に導入される予定です。詳細が判明し次第、随時最新情報をお知らせいたします。

さらに、一部のEU加盟国が独自に導入している「国別の取扱手数料」が引き続き適用される場合があります。例として、フランス(2ユーロ)、イタリア(2ユーロ)、ルーマニア(25レウ)などが挙げられます。(詳細は次のページ)

出典: [FedEx EU Customs Reform資料より](#)

適用開始日：発送方法ごとに異なるタイミング

SpeedPAK Economyは6月22日、SpeedPAK-DHL/FedEx発送は6月26日からCPaSSでの新規注文に適用されます



6/22

SpeedPAK Economy

2026年6月22日 0時 (UTC+09:00)



6/26

SpeedPAK-DHL/FedEx発送

2026年6月26日 0時 (UTC+09:00)

基準：CPaSSでの注文作成タイミング

HSコード要件とコンプライアンス: 正確な申告が必須に

SpeedPAK-DHL/FedEx発送は6桁HSコードの記載が必須ですが、SpeedPAK EconomyはOC側が自動分類するため記載不要です



SpeedPAK-DHL/FedEx発送

6桁HSコード必須



SpeedPAK Economy

記載不要 (OCが申告情報をもとに分類)

共通要件: 以下を正確に申告



商品名



申告価格



数量



重量

費用徴収・請求タイミング:現金決済 vs 掛売りセラー

現金決済セラーは配送ラベル発行時に費用が徴収され、掛売りセラーは受入スキャン完了時または倉庫出荷時に請求されます

現金決済セラー

DDP:
ラベル発行時に徴収



DDU(€150超):
発生なし

掛売りセラー

DDP: 受入スキャン完了時 (DHL/FedEx) / 倉庫出荷時 (Economy) に請求

最終精算は実際の関税査定額に基づき過払い返金・不足追加請求の原則を適用

関税・通関関連手数料の全体像と算出ロジック

推定関税はHSコードごとに€3だが、通関関連費用や推定関税処理手数料2.1%が加算されるため実際の負担額は€3以上に

算出式: 推定関税及び税金料金
+ その他通関関連費用
+ 推定関税処理手数料 *



推定関税 & 税金
(€3)



その他通関
関連費用



推定関税処理手数料
(合計額の2.1%)



*推定関税処理手数料は、
「推定関税及び税金料金＋その他通関関連費用」の合計額に対
して2.1%が適用されます。

(FedExによる) 実例: 中国→フランス、€100のスカート1点

項目	Before July 1st, 2026	After July 1st, 2026
関税価格	€100	€100
VAT(20%)	€20	€20
推定関税及び税金料金	€0 (免税枠内)	€3+
通関関連費用	€2	€2 + €?
Total	€122	€125+α

*EU手数料(EU Handling fee)は承認待ちの段階であり、2026年末に導入される予定です。詳細が判明し次第、随時最新情報をお知らせいたします。

さらに、一部のEU加盟国が独自に導入している「国別の取扱手数料」が引き続き適用される場合があります。例として、フランス(2ユーロ)、イタリア(2ユーロ)、ルーマニア(25レウ)などが挙げられます。

出典: [FedEx EU Customs Reform資料より](#)

DDP費用徴収・請求タイミング:都度払い vs まとめ払いセラー

XXX



都度払いセラー



DDP: ラベル発行時



まとめ払いセラー



DDP:

FedEx/DHL: 受入スキャン完了時
Economy: OC倉庫出荷時



最終精算は実際の関税査定額に基づき、過払い返金・不足追加請求の原則を適用

あなたが今すぐすべきこと

申告情報を正確に申告すること、DDP/DDUを適切に選択することの2つに着手してください

1

ステップ1

HSコード・商品名・商品説明・申告価格・数量・重量・原産国を正確に申告

2

ステップ2

申告価格と希望するリスク負担に応じてDDP/DDUを選択

サポート窓口



電話 0800-300-8192



CS.JP@orangeconnex.com (件名: EU税制改正に関する問合せ)

同梱ケース

XXX

お問い合わせ

状況は今後変化する可能性があります。最新情報は随時ご案内します

サポート窓口：電話 0800-300-8192

メール

：CS.JP@orangeconnex.com

Orange Connex Logistics Japan

発行日：2026年6月18日